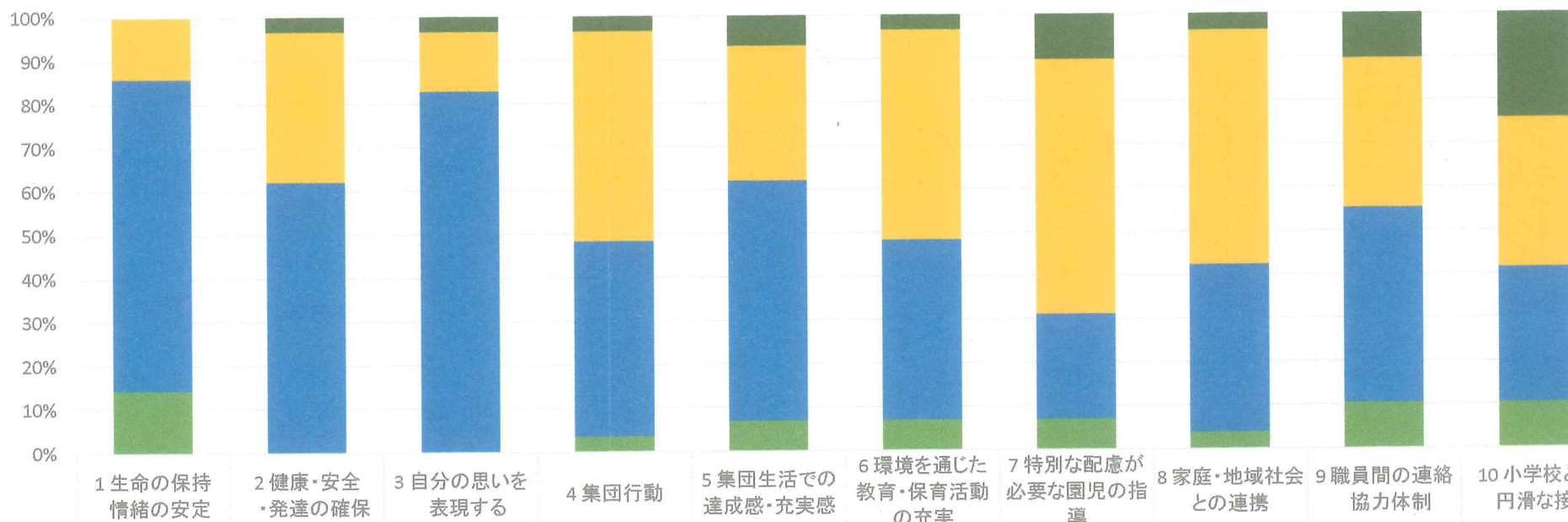


日々の教育・保育の指導に関する留意点・評価 自己評価表



	1 生命の保持 情緒の安定	2 健康・安全・発達の確保	3 自分の思いを表現する	4 集団行動	5 集団生活での達成感・充実感	6 環境を通じた教育・保育活動の充実	7 特別な配慮が必要な園児の指導	8 家庭・地域社会との連携	9 職員間の連絡協力体制	10 小学校との円滑な接続
■ D 達成していない	0	1	1	1	2	1	3	1	3	7
■ C 十分達成していない	3	10	4	14	9	14	17	14	10	10
■ B ほぼ達成した	15	18	24	13	16	12	7	10	13	9
■ A 達成した	3	0	0	1	2	2	2	1	3	3

	1 生命の保持 情緒の安定	2 健康・安全・発達の確保	3 自分の思いを表現する	4 集団行動	5 集団生活での達成感・充実感	6 環境を通じた教育・保育活動の充実	7 特別な配慮が必要な園児の指導	8 家庭・地域社会との連携	9 職員間の連絡協力体制	10 小学校との円滑な接続
A 達成した	3	0	0	1	2	2	2	1	3	3
B ほぼ達成した	15	18	24	13	16	12	7	10	13	9
C 十分達成していない	3	10	4	14	9	14	17	14	10	10
D 達成していない	0	1	1	1	2	1	3	1	3	7
1 取り組みが不十分である	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0

	項目	ポイント	評価・取り組み状況
教育・保育 (健康 人間関係 環境 言葉 表現)	1 生理的な欲求を満たし生命の保持と情緒の安定を図る		・情緒の安定を図るため、個での関わりを大切にしている。・個々のペースを大切にしゆったりと関わりながら思いを汲み取ったり、引き出したり言葉を添えるなどして安心して過ごせるようにするとともに信頼関係を築き深めている。
	2 行動範囲が広がり探索活動が盛んになり心身ともに快適な生活をする		・「なんで?」「やってみたい」という気持ちにこたえられるよう環境を整えたり、少人数で、のびのびと活動できる羽陽にしている。・危険のないよう、成長に合わせた環境を設定していく。
	3 保育教諭や友だちとの繋がりを深め、自分の伝えたいことや思いを表現する		・個々の性格を理解したうえで、気持ちに寄り添い思いをくみ取ったり関わりを深めていく。・見守ったり、思いが伝わらないときは仲立ちして丁寧に関わりうようにしている。・会話やスキンシップを多くとり、安心して表現できる関係をつくっている。
	4 保育教諭や友だちとのつながりを深め集団としての行動が出来る		・自己主張が強く、集団あそびを共有できないことも多い。個の遊びを充実させ個が集団へと目が向くよう活動を進めていく。見通しを持った声掛けをすること。・日々の積み重ねと経験を重ねることで自分で考えて行動できるようにしている。
	5 集団生活の中で、意欲的に活動し知識や能力を獲得し達成感や充実感を味わう		・興味・関心をもって取り組める活動、苦手だったことが出来るようになった喜びに共感する。・できた喜びに共感し、自信をもって表現出来るよにする。・発表する機会や行事等で、表現していく機会を多く持てるようにしている。
	6 環境を通じた教育及び保育活動の充実		・安全に十分配慮しながらの環境設定が工夫され、活動・実践できている。・自然や、園外保育の機会が減っているため季節感を味わえる活動の工夫が必要。・子どもたちのやってみたい! に応えられるような環境づくりを設定している。
情報提供 人材育成 公共機関との連携	7 特別な配慮が必要な園児の指導		・療育施設との連携、関わり方の工夫・配慮。・職員・保護者との連携や話し合いが出来、支援に向けた取り組みがされている。・専門的知識の獲得が必要。
	8 家庭・地域社会との連携		・保護者と信頼関係を築き連携できるコミュニケーションを継続している。・お便りや情報啓発・地域活動への参加等、家庭に働きかけしている。・挨拶や顔を合わせた時に様子を伝えるなど、情報共有している。
	9 職員間の連絡および協力体制		・情報共有することで、意識統一を図っている ・お互いを思いやる気持ちを持つこと。クラスの枠にとらわれない協力体制を心掛けていく。クラスの主となる職員の意識統一。・振り返りの時間をとること
	10 小学校との円滑な接続		・連絡会等でスムーズな連携を目指している。・小学校の活動を意識づけるための取り組み、子どもたち自身が自信や肯定感をもって就学できるようにしている。

評価ポイント

5 達成した

4 ほぼ達成した

3 十分達成していない

2 達成していない

1 取り組みが不十分である